

目的 近年健康食品のイメージが注目を集め、多くの宣伝もされてきている。スポーツドリンクもその一つであり、幾種類もが市販されている。味賞上やその表示成分から、その成分の推測は一定し得るが、実際にどの程度の成分を含むものかをジュース類と比較対照として明らかにすることを目的とした。また、小学生、中学生、高校生、大学生及び社会人の各世代及び男女差に基づく嗜好性の差異を調査し、成分と合わせ検討した。

方法 9種類のスポーツドリンクを購入し実験に供した。糖含量はベルトラン法により求め、アルカリ度は試料を550℃で灰化後 $\%N$ NaOHで滴定して求めた。Ca, K, Naの定量は原子吸光光度計により測定算出した。スポーツドリンクに対する嗜好調査は、小学生、中学生、高校生、社会人それぞれ50名(男女各25名ずつ)、また大学生については運動クラブ活動を行っているグループと行っていないグループ各100名ずつと対象として行った。

結果 スポーツドリンクの糖含量は3%前後であって9種の間には大きな差異は認められなかった。この糖含量はジュース類の糖含量に比べ約半程度であった。アルカリ度は60.7~67.5 mlであり、スポーツドリンク間で大差はなく、ジュース類とほぼ同じ値を示した。アルカリ生成元素のうち、Ca含量はドリンクの種類によって差があったものの特に多量含まれてはいなかった。一方、スポーツドリンクは運動後に好んで飲まれ、女性より男性に好まれる傾向にあった。その理由の主なものは「さっぱりしている」等の嗜好上のものであり、アルカリ飲料であるからという理由はむしろ少なかった。また日常的にスポーツをしている人の方が必ずや多く飲む傾向にあった。